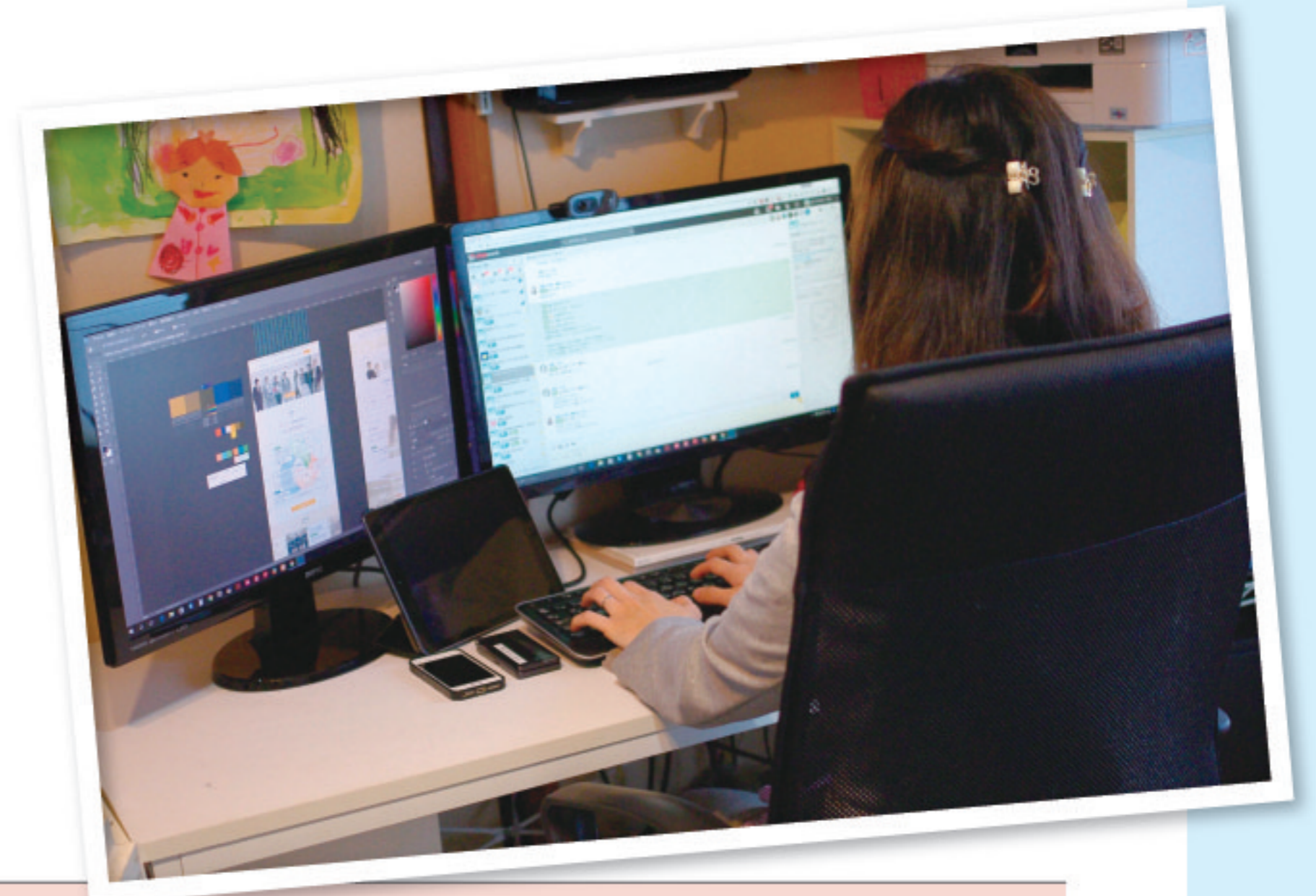


導入事例 8

株式会社フェリクシード

中小企業支援業

所在地 ● 札幌市中央区南3条西1丁目1-1 南3西1ビル7F
電話番号 ● 011-209-0055
代表者 ● 代表取締役 深澤 貴絵
従業員数 ● 7人
資本金 ● 500万円
事業内容 ● 事業拡大支援事業、人材育成支援事業、
求人サイトの運営、軽貨物運送事業
URL ● <http://felixeed.jp/>



テレワーカー ウェブ制作チーム
塙 友紀さん

子どもの体調変化や成長に寄り添える在宅勤務

株式会社フェリクシードでウェブ制作を担当する塙友紀さんは、在宅で週5日、1日あたり5時間程度、繁忙具合に合わせて柔軟に働いています。

塙さんは入社当初から在宅勤務をしています。入社前も合わせ10年以上にわたり在宅勤務を続けています。在宅勤務の魅力については「子どもが生まれてから特に、メリットを感じるようになりました」と話します。「子どもが病気がちで入院を何度も繰り返し、普通に働くのは難しかった」と言います。その点、在宅勤務では「子どもの体調に合わせて、子どもが寝たりテレビを見たりしている隣で仕事をすることができます」と話します。

自宅では、貸与されたパソコンとモニター、携帯電話を使って専用スペースで仕事をします。最近は、小学生になったお子さんが帰宅する時に家で迎えてあげられることが在宅勤務の魅力だと言い、「子どもにとっては母親が家で仕事をしていることは当たり前のように、むしろ外に働きに出ることは想像できないだろうと思います」と、家庭生活に在宅勤務がしっかりと定着している様子がうかがえます。子育てが落ち着くまで当面の間は、在宅勤務を続ける方針だと言います。



代表取締役
深澤 貴絵さん

ライフスタイルに左右されず、働ける職場を

WEB制作・運営支援、人材育成支援、求人サイトの運営、軽貨物運送など、多岐にわたる事業を展開する株式会社フェリクシード。代表取締役の深澤貴絵さんは、テレワーク導入について「10年先を見据えて行っていること」だと話します。

「女性、男性に限らず、社員が育児や介護をすることになってから、急にテレワークを始めるのは難しいと思います。ライフスタイルや場所にかかわらず働ける職場環境を整え、そのために社員を教育することが大切だと考えます」と深澤さんは話し、設立以来、テレワークの環境整備に積極的に取り組んできました。

その取り組みとして際立っているのが、「chatwork(チャットワーク)」というコミュニケーションツールを使った業務管理の手法

です。電話やメールでの連絡は最終手段とし、社員同士、そして顧客との連絡もチャットで行い、テレビ会議や勤怠管理、業務報告、経費報告といった業務管理もすべてチャットで行います。そうすることで、オフィスや自宅、出張先、サテライトオフィスなどに分散した社員をつなぐことができ、深澤さんご自身も自宅や海外で仕事をこなし、札幌本社への出社は年に20日程度だと言います。「社員に働き続けてほしい」という思いで始めた環境整備は、退職する社員をほぼゼロにすただけでなく、チャットを使った業務管理による業務効率の向上、全国展開や事業拡大のチャンスという効果をも生み出したと言います。今後の新たなビジネス展開にも意欲的です。